

各企業等の社会貢献

交通事故根絶へ協力を

渡辺組が国道沿いで街頭啓発

グッズ手渡し呼びかけ



【網走発】(株)渡辺組(遠

軽、渡辺博行社長)は十四日、遠軽町内を走る国道二四三号沿いの同社本社前で交通安全街頭啓発を実施した。渡辺博行社長らが道行くドライバーに交通安全グッズを手渡し、交通事故根絶へ協力を求めた。

同社では、夏と秋の全国交通安全運動に合わせ平成十九年から街頭啓発に取り組んでいる。同社と(株)渡辺興業(高橋省哉社長)との共催。ことしで十一年目、二十一回目を迎えた今回の活動には、両社の役員や作業員ら五十人が参加した。

冒頭、渡辺社長があいさつ。以前小樽市で発生した

交通安全グッズを配布し、交通事故撲滅を呼びかけた

飲酒運転によるひき逃げ事故にふれ「亡くなられた遺族の悲しみは消えることがない。労働災

害も同じで、消えることのない悲しみを残さないためにも飲酒運転の撲滅・労働災害防止の徹底をお願いする」と参加者に呼びかけた。

続いて、応援に駆け付けた遠軽警察署の三浦隆一署長が、交通事故発生状況や交通安全運動の重点事項を説明。「地域に精通した同社の活動は非常に大きい。今後も継続していただき、交通事故撲滅に協力してほしい」と要望した。

このあと街頭啓発活動を行い、活動に当たっては、遠軽警察署の警察官が通行車両を路肩に誘導。渡辺社長や三浦署長らが、同社で作成したリーフレット、ペットボトルのお茶を詰め合わせた交通安全グッズ八十五セットを配布。「安全運転に協力をお願いします」などと声をかけ、交通事故撲滅を訴えた。

このほか、参加者全員が国道沿いに整列し、シートベルト着用の徹底を訴える横断幕や、飲酒運転撲滅、高齢者と子どもを事故から守る―などと書かれたのぼりを手に、安全運転を啓発した。

242号沿いで 安全運転啓発

渡辺組と
渡辺興業

・【北見】渡辺組（本社
・遠軽、渡辺博行社長）



と渡辺興業（同・湧別、
高橋省哉社長）は14日、
渡辺組本社前の国道24
2号沿いで交通安全街頭

啓発に取り組み、交通安全を呼び掛けた。写真。

毎年夏と秋の交通安全運動期間中に実施している。21回目となった今回は50人が参加した。

渡辺組の渡辺社長は「労働災害と同様に交通事故もあつてはならない。この街頭啓発を機に、交通安全でも地域に貢献したい」とあいさつ。協力した遠軽警察署の三浦隆一署長は「皆さんと一緒に、思いやりのある運転をドライバーに訴えていきたい」と意気込んだ。参加者は、沿道に整列し飲酒運転の防止や、シートベルト着用を促すのぼりや横断幕を掲げた。車両を誘導し、交通安全リーフレットなど85セットをドライバーに手渡した。